

「クーポン券」や「成人式記念品」

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業など

1億9,053万円を予算可決

- ・町内店舗を対象として使用できる1人5,000円の「クーポン券」を発行（町独自事業）
- ・令和3年成人式を迎えた方に記念品を贈呈（町独自事業）

定例会6月会議は、6月9日から11日の3日間の会議日程で開かれました。
会議では、補正予算や条例の一部改正の議案などを慎重に審議し、全て全会一致で可決されました。

補正
予算



一般会計予算 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して行う事業

歳入は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の国庫支出金や寄附金及び繰越金など、歳出は、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費、新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策支援事業費、町有施設における新型コロナウイルス感染防止対策事業などの増額補正

総務費	庁舎維持費	役場庁舎の手洗い蛇口を自動式に変更	212万円
民生費	子どもセンター施設維持管理費	トイレを洋式便器、空調設備の更新、手洗い蛇口を自動式に変更	2,500万円
商工費	新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策支援事業費	町内店舗を対象として使用できるクーポン券を発行	7,216万円
教育費	ICT教育推進事業費	タブレット端末のiPadの充電器、タッチペンの購入	509万円
	学校施設維持管理費（小学校費）	無線アクセスポイントの増設	237万円
	学校施設維持管理費（中学校費）	無線アクセスポイントの増設	237万円
	幼稚園施設維持管理費（幼稚園費）	棚倉・社川・近津幼稚園の手洗い蛇口を自動式に変更及びタブレット端末の購入	1,181万円
	青少年教育推進事業費（公民館費）	令和3年成人式を迎えた方に追加の記念品を贈呈	357万円
	管理運営費（図書館費）	図書館の図書購入及び公衆無線LAN環境の整備	145万円
	管理運営費（文化センター費）	文化センターの手洗い蛇口を自動式に変更	415万円
	施設維持管理費（保健体育総務費）	総合体育館のトイレの改修及び手洗い蛇口を自動式に変更	298万円
	給食器具整備費（学校給食センター費）	学校給食用トレイ及び食缶の更新	223万円

主な事業

○人材育成基金積立金
1,000万円
寄附金を基金へ積立するもの

Q どのような使われ方をする基金なのか。
総務課長 これからの人材を育てる文言とごりの基金である。

Q 具体的には、どのように使われているのか。
総務課長 オーストラリアホームステイ事業や小中学校の教育推進などに使われている。

○コミュニティ助成事業費
490万円
宝くじ助成事業が採択により2自治会に助成する事業

Q 事業の詳細は。
総務課長 2地区に対し、1地区は、祭りの備品の購入、1地区は祭りの屋台整備に助成する。

Q 事業の2地区の予算は。
総務課長 1地区は、240万円、1地区は250万円。

○林業経営体育成対策実施事業費
727万円
林業事業者が機械を購入する費用を助成する事業

Q どのような林業事業者が該当するのか。
産業振興課長 伐採等、林業を業としている事業者が該当する。

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費
1,355万円
低所得の子育て世帯に1人あたり5万円を給付する事業

特別会計予算

◇令和3年度棚倉町国民健康保険特別会計補正予算
歳入は、本算定に伴う国民健康保険税、決算剰余金等、歳出は、国民健康保険事業費納付金等の増額補正

◇令和3年度棚倉町簡易水道事業特別会計補正予算
山岡簡易水道施設内の誘導管及び高野西部簡易水道施設内の揚水ポンプ故障による修繕費の増額

10件の事業を繰越し

令和2年度内に事業を完了することが出来ない事業、令和元年度事業で、台風19号の被害が全国的な規模で、令和2年度においても建設資材や労務調達が困難であったため、令和3年度へ繰越して実施する事業の内容が報告されました。

Q ふくしま森林再生事業費の繰越しの理由は。
産業振興課長 7月の豪雨で林道の土砂が崩落し、作業道の確保に4ヶ月の時間を要したことから、工期が延長となった。
Q 繰越しとなった箇所は。
産業振興課長 強梨地区（高野）である。

令和3年度繰越し事業

(繰越明許費繰越し)

総務費	情報管理費	150万円
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	9,825万円
農林水産費	震災対策農業水利施設整備事業費	1,560万円
	ふくしま森林再生事業費	1,946万円
土木費	道路メンテナンス補助事業費	9,417万円
災害復旧費	単独林道災害復旧費	1,712万円

(事故繰越し)

教育費	管理運営費	110万円
災害復旧費	補助農業用施設災害復旧費	2億1,531万円
	公共土木施設災害復旧費	6,258万円
	単独土木施設災害復旧費	781万円

国民健康保険税が改正されました

改正内容

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の軽減判定所得の基礎控除を現行の33万円から43万円に引き上げるとともに、世帯における被保険者のうち一定の給与所得者等※の数の合計から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加える改正。

※一定の給与所得者等：給与所得者（給与収入が55万円を超える方）と公的年金等の支給を受ける方（65歳未満で公的年金等控除後の収入が60万円を超える方、65歳以上で公的年金等の収入が110万円を超える方）

国 保 税 率

		令和2年度	令和3年度	比 較
医 療 分 ※1	所得割	5.41%	5.49%	0.08%
	均等割	18,800円	19,500円	700円
	平等割	13,600円	13,500円	△100円
	限度額	630,000円	630,000円	0円
後期高齢者支援金分 ※2	所得割	2.58%	2.65%	0.07%
	均等割	9,000円	9,400円	400円
	平等割	6,500円	6,500円	0円
介 護 納 付 金 分 ※3	限度額	190,000円	190,000円	0円
	所得割	2.00%	2.09%	0.09%
	均等割	8,300円	8,500円	200円
	平等割	4,400円	4,200円	△200円
	限度額	170,000円	170,000円	0円

年間平均保険税

		令和2年度	令和3年度	比 較
医 療 分	1世帯あたり	75,689円	71,975円	△3,714円
	1人あたり	44,846円	44,567円	△279円
後期高齢者支援金分	1世帯あたり	35,345円	33,661円	△1,684円
	1人あたり	20,942円	20,843円	△99円
介 護 納 付 金 分	1世帯あたり	24,546円	22,948円	△1,598円
	1人あたり	19,911円	19,975円	64円

用語解説

- ※1 医療分 ➡ 主に医療給付などに充てられるための保険税
※2 後期高齢者支援金分 ➡ 75歳以上の後期高齢者医療制度を支援するための保険税
※3 介護納付金分 ➡ 40歳から65歳未満の被保険者に課税される保険税

専決処分の報告

◆令和2年度棚倉町一般会計補正予算（第8号）

事務事業等が確定したことに伴う補正で、地方交付税、寄附金及び繰入金等の増額補正

◆令和2年度棚倉町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

保険料収入の確定に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金が増加したことによる増額補正

◆令和2年度棚倉町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

事業費の確定に伴う減額補正

◆令和2年度棚倉町農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）

事業費の確定に伴う減額補正

◆棚倉町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律等が令和3年3月31日に公

条例の制定・一部改正等

◆棚倉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の改正に伴い、低所得者の軽減判定基準、応益分軽減税額等の改正

◆棚倉町立幼稚園設置条例の制定

高野幼稚園の新入園児の増加が見込まれたため、保護者から棚倉幼稚園での保育の要望があり、令和4年4月1日から棚倉幼稚園と統合をするため、新たに条例を制定



◆白河地方広域市町村圏整備組合規約の変更について

組合の共同処理する事務の情報通信の改正、組合事務所の位置を変更するため規約を改正

（組合の事務所の位置）

変更前 白河市立石山15番地1

変更後 白河市表郷金山字長者

久保2番地

Q 消防本部と事務所が離れてしまうことに弊害はないのか。

地域創生課長 検討を重ねてきたが懸案事項となっていないので、支障はないものと考えている。

Q なぜ変更する必要があるのか、変更の内容は。

地域創生課長 事務所が狭く懸案事項があった。消防隊員の仮眠室の確保や敷地が狭く職員の駐車場で消防訓練を実施している状況であるため、懸案事項の解消を図った。

議員発議

◆棚倉町議会会議規則の一部を改正する規則

欠席の届出について、議員活

決算審査が行われました

7月28日～8月5日までの6日間



石井重寛代表監査委員及び蛭田卓雄監査委員により、各課担当職員から聞き取りをしながら、書類等のチェックを行い、適正に執行されているか確認しました。

町政を問う

定例会6月会議では6人の議員が登壇し質問を行いました。

1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。

1 藤田智之 議員 …… 8ページ

1. 新型コロナウイルス感染対策は
2. ふるさと納税等寄附金の有効活用は
3. 防犯カメラの公園などへの取付けは

2 鈴木政夫 議員 …… 9ページ

1. コロナワクチン接種の状況は
2. タクシー券の利用状況と改善策は
3. 町道法面の支障木除去は
4. 少人数学級の推進は
5. 旧棚倉高校跡地の利用計画は

3 藤田光子 議員 …… 10ページ

1. 感染症ワクチン接種の状況は
2. 文化センター改修工事の内容は
3. 解体終了が迫る旧棚倉高校跡地は

4 菊池忠二 議員 …… 11ページ

1. 教育現場のICT活用は
2. コロナワクチン接種の進捗状況は

5 和知裕喜 議員 …… 12ページ

1. スクールバスの全町運行は
2. ふくしま森林再生事業の取組みは
3. 地域おこし協力隊は

6 古市泰久 議員 …… 13ページ

1. 教育委員会に係る諸施策の対応は
2. 弓道施設の位置づけは
3. 防災・減災に関する対応は



経営状況報告



町が出資している株式会社ルネサンス棚倉、一般財団法人棚倉町活性化協会、白河地方土地開発公社から、令和2年度における経営状況が報告されました。

なお、株式会社ルネサンス棚倉における経営状況は、次のとおりとなっています。

株式会社ルネサンス棚倉

～損益計算書・事業報告書より～

◇利用総額	
宿泊、研修室、クアハウス、及びプールなどの施設の利用者から納入された総額	6,730万円
◇売上金から	
レストラン・売店などの賃貸料	754万円
◇雑収入	
東京電力からの賠償金等	2,162万円
町からの指定管理料	6,111万円
◇貸付金	
町からの貸付金	4,000万円
◇町内業者からの仕入れ状況	
食材及び燃料費等	3,161万円
◇開催した主なイベント	
たなりんピック他	

◇主な実績 () 年前対比

宿泊延べ人数	7,316人 (17,239人減)
売上高	9,499万円 (18,620万円減)
当期純利益額	△7,225万円 (10,785万円減)
累積赤字額	2億5,822万円 (7,225万円増)

Q (株)ルネサンス棚倉の経営状況についての質疑
A 売上総利益が一般管理費を上回っているが、売上総利益に相当する経費のかけ方を考えることはできないのか。株主総会での議論はあったのか。
Q 経費のかけ方については、意見は出ていない。
A 連絡調整会議等で申し入れていくことは、可能と考えている。
Q 赤字経営のまま、この形で続けていくのか。
A 「ルネサンス棚倉」の運営に、支障がない状態である。
Q 長期の資金計画を町民を含め、議会に示す必要があるのでは。
A 必要に応じて議会等への説明を検討するよう、連絡調整会議等で申し入れていきたい。
Q 町が指定管理料を負担をしているのに、町民に対するサービスが低いのでは。
A 町民に対しては、1割以上安いサービスを受けられる料金となっている。

令和3年度事業計画

- ・健康リゾートとしてのサービスを強化し、快適に滞在していただけるよう、サービス向上に努める。
- ・営業黒字化を目指しながら、新5か年計画を基に売り上げ2億円を達成する。

数値目標

売上高：2億円
経常損益：▲1億2千万円
宿泊者数：1万4千人

問 現在までの接種状況は

答 65歳以上の約70%で目標を達成

問 現在までの接種状況、予約や交通手段等の問題は。ワクチンを無駄にしない取り組みや臨時交付金の使い道は。保育園も含め教職者等へ優先接種や、困窮者等への対応は。

町長 5月末現在で3,200人、65歳以上人口の約70%が接種し目標を大きく上回った。交通手段も町民の要望に沿って対応、予約の支障はあったが概ね順調に進んでいる。余剰ワクチンについては、高齢者、高齢者施設従事者、ワクチン接種業務従事者の順に対応。予約の課題解決のため、対応の電話台数を増やし、ネット弱者へは家族や地域などで支えることを進めたい。臨時交付金で町有施設の手洗い自動水栓化や1人5,000円の町内クーポン券発行などを計画。キャンセル発生時の教職員等への優先接種は考えていない。困窮している個人へは、国県の制度で対応したい。

問 教職員の優先接種は検討すべきでは

町長 住所地での原則接種が障害になっている。



ワクチン接種状況

問 ふるさと納税寄附金の収入は

答 寄附金額の約5割強が実質収入

問 ふるさと納税等寄附金の金額、返礼品の状況は。成果の見え方の使い方、有効活用は。町外への

ふるさと納税による減収分は。クラウドファンディングの活用は。

町長 令和2年度決算額は約1億5,900万円で金額は年々増加。金額に応じ46品目の返礼品があり、経費を差し引くと約5割強が収入。特産品や衛生用品などが人気で、産業の活性化につながっている。寄附金は全て基金に積立て、寄附の目的に沿った各種事業や必要な経費の財源に充てている。ふるさと納税による減収分は今年度課税額で約500万円。クラウドファンディングの重要性は認識しており、今後研究したい。

問 防犯カメラ、警察との協議は

答 これまで特に行っていない

問 犯罪の解決・抑止に近年防犯カメラが大きな役割を果たしている。計画的な設置に取り組むべきでは。

町長 犯罪の未然防止や抑止力、事件や事故等への活用等、その必要性は認識。管理上、防犯カメラが必要な町有施設に設置をしてきたが、引き続き各施設の設置についても検討したい。特に警察との協議は行っていない。主要な場所への設置は有効だが、それぞれの管理者にお願いしたい。設置の補助などは考えていない。



防犯カメラの要望のある赤舘公園

問 ワクチン接種予約申込み改善を

答 電話回線を3回線から10回線にする

問 ワクチンの接種は、1回目の接種を5月7日から始め、5月末現在で何人の方が接種を済ませたのか。接種対象者の何%になっているのか。

また高齢者で、一人暮らしなどへの手助けを考えているのか。

町長 第1回目の接種は、5月7日から高齢者の接種を始め、5月末現在で接種率は、約70%となっている。接種対象者の申し込みは5月末現在で89%となっている。高齢者の接種は、おおむね6月末に終了し、それ以外の方の接種は7月上旬に開始する予定である。

問 今回の予約申し込みについて、電話がかかりづらいとの声が寄せられた。電話とインターネットでの受付はどだったのか。電話の回線をもっと増やすべきでないか。

健康福祉課長 予約の状況は、電話が約2割、インターネットが

約8割となっている。

今後は、電話の回線を3回線から10回線に増やして、対応したい。土・日曜も対応したいと考えている。



ワクチン接種が行われる保健福祉センター

問 タクシー利用券の改善策について

答 一律交付で問題はないと考えている

問 タクシー利用券の改善策については、以前から指摘しているように、地域的な格差の是正を求めているが、現段階ではどのように考えているのか。また昨年度1

問 町道法面の維持管理について

答 パトロールで、安全確保に努めている

問 町道法面にある支障木などについて、町が維持管理する立場に立って、取り組んでほしいと思うが。

町長 町道法面の維持管理については、通常の道路パトロールや

住民からの通報などにより、道路の通行に支障となる箇所を把握しながら、所有区分を確認し取り組んでいる。



鈴木政夫



町道に覆いかぶさる樹木

問 少人数学級の推進について

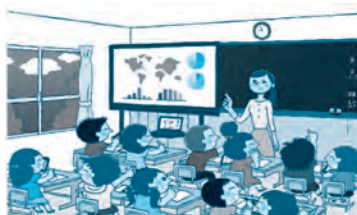
答 町は学校の希望により、30人程度の学級編成を行っている

問 旧棚倉高校跡地利用計画は

答 県営施設として利活用を県に要望していく



藤田智之



問 小中学生全員に配付されたタブレットの使い方について、家庭への持ち帰りは。

教育長 学校の指示で自宅学習の使用時は可能。

問 破損、故障の対応は。

教育長 町貸付要綱に基づく取扱いの場合は町が、それ以外の場合は保護者が負担。

問 使い慣れた自前のタブレットを学校への持ち込みは可能か。

教育長 破損や盗難の問題のため考えていない。

問 アクセス先についての指導は。

教育長 令和3年3月にルールや情報モラル教育を実施し指導を行った。

問 小中学校の活用状況は。

教育長 プレゼンテーションの活動、双方向型の授業に活用。

問 ICT授業は先生方の代的なギャップ、学校全体の指導者数、指導力の問題は、指導についての研修等はあるのか。

教育長 それぞれ活用技術の差は多少あるものの、棚倉小で6名、その他の小学校では2名ずつ、棚倉中で4名の情報教育担当教員を任命。校内研修を実施し、研鑽を積んでいる。町学力向上委員会にICT推進チームを設置し調査研究を進めている。研修会にも積極的に参加するよう指導していく。

問 自己マネジメント能力とICT活用との関連は。

教育長 自己解決能力や皆で決める能力を促進するための効果的なツールと考えている。

問 キャリア教育とICT活用との関わりは。

教育長 キャリア教育は、社会的職業的自立に必要な能力育成を目標に、ICT活用はこれからの社会において必要な能力であり、子供たちにぜひ身に着けさせたい共通のもの。

問 GIGAスクール構想を通じてどのような子どもに育って欲しいと考えているのか。

教育長 次世代を担っていくための情報活用能力を身につけて欲しいと考えている。

問 今後、健康診断のように地区ごとに接種をする予定は。電話予約などが軽減されると思うが。

健康福祉課長 今後も集団接種、個別接種で対応していく。

問 保健福祉センターまでの接種者送迎、2日間の運行経過と乗車人数は。今後も送迎はあるのか、現在交付しているタクシー券を増やす考えは。

町長 送迎はタクシーを借り上げ希望者38名を送迎。2回目の送迎も予定しているので、タクシー助成券を増やす考えはない。



問 GIGAスクール構想とは 答 教育ICT環境を整備実現すること



きく ちゆう じ 菊池 忠二

問 ワクチン接種対象者全ての終了予定は

答 現在10月を予定

問 県との協議状況に進展はあるのか。

町長 県地域連携室との打合わせで、確認している。

問 土地売却等の打診があった場合、購入する考えはあるか。

町長 金額など条件を確認し、必要性も含め検討していく。

問 町職員がアイデアを出し合う機会を設け、専門的な知識を生かせる活用方法を考えることはできないのか。

地域創生課長 県の方向性を注視し情報収集しながら、庁内共有という観点から「まちづくり計画策定会議」において報告している。

問 まちづくり計画策定会議の組織と構成は。

地域創生課長 振興計画や各種計画の協議、調整をする組織で、地域創生課長等、各課室の課長補

佐、係長から構成されている。

問 打診があった場合に備えて、町民が納得できるような内容を、官民一丸となって県への要望ができる体制を整えておくことを望むが。

地域創生課長 跡地利活用について、検討することのできる組織体制はできていると認識している。

問 感染症ワクチン接種の現況は

答 当初の目標を大きく上回っている

問 手順、場所の設定、遠隔地域居住者、身体障がい者などの方々への対応は。

町長 個別に案内や具体的に対応をしている。

問 接種後の副反応による異常事例はなかったか。

町長 腕の痛みなど数件が報告されている。

問 安全な教育環境を目指す意味でも保育園、幼稚園、各学校、子どもセンター、給食センター等各職員への接種を先行しては。

町長 状況をみながら、対応していくことも必要と思っている。

問 文化センター改修工事の内容は

答 総合的に調査した上で改修にあたる

問 施設内に雨漏りによる損傷箇所が見受けられるが、改修計画



解体終了が迫る旧棚倉高校跡地



劣化が目立つガレリア（館内）

はあのか。

教育長 施設内の雨漏りの改修等、社会教育施設個別施設計画を基に、改修の具体的内容を検討していく。

問 ホール内の空調設備は。

生涯学習課長 開館当時から設置はされているが、催しに支障をきたすため、事業によつては空調を止めるなどの対応を行っている。



ふじ た みつ こ 藤田 光子

問 スクールバス全町運行の現況は

答 利用率小学校90%、中学校61%

問 バスの台数と路線数は。

教育長 マイクロバスが7台、ワゴン車が1台の計8台、8ルートを設定し運行している。

問 公共交通機関の定期券補助地区とその理由は。

教育長 今年度の通学支援希望者がスクールバス乗車定員数を上回ることから、近津小学校に通学する通学距離がおおむね片道2キロメートル以上の路線バス定期券購入に全額補助、今年度は福島交通、棚倉東館線の双の平入口から米山下停留所までの区間で乗車する児童の保護者に補助。

問 運行後、2ヶ月となるが、問題点や要望はあるのか。

教育長 特に問題はないが、通学支援対象に満たない地区の保護者から、利用したい旨の要望が1件あった。



全町スクールバス運行の様子

問 スクールバス運行開始に伴い、幼稚園送迎バス運行の改正は。

教育長 今年4月から送迎バス使用料を無償化し、利用できる園児を通園距離がおおむね片道500メートル以上の園児に改正した。

問 児童、生徒以外の一部町民の乗車が可能になり、登校便に乗りしているが、下校便の乗車は。

教育長 許可された方の下校時の利用は可能。利用時間帯が下校時間に合わないことから、現在利用者はない。

問 ふくしま森林再生事業の取組は

答 13箇所、4000ヘクタールを予定

問 平成25年度から令和2年度までの事業実施箇所と面積は。

町長 13箇所、387・91ヘクタール。

問 令和3年度から令和7年度までの応募箇所数と面積及びその採択状況は。

町長 今回13箇所、586ヘクタールの応募があり、13箇所、全てを採択、面積は400ヘクタールを見込んでいます。

産業振興課長 評価により申請された全面積を実施する地区と3割から4割程度の面積しか出来ない地区が発生している。

問 地域おこし協力隊取組の現況は

答 1名活動中でOB1名居住している

問 令和2年9月より隊員1名が委嘱されたが、現在の活動は。

町長 主な活動は各小・中学校へそれぞれ週1回程度訪問し、図書担当教諭と協力をしながら図書室の環境整備や本の相談、さらには本の読み聞かせなどを行っている。

問 町で募集しているミッション型の種類と応募人数は。

町長 平成28年度より行っており、その種類は図書活動推進員、ヘルスケア事業活動員、イチゴ農家への就農者、里山活動従事者、地場産品の販売・PR活動従事者などであり、応募人数は延べ14人である。



和知 裕喜

問 新教育長の所信は

答 キャリア教育の成果を継続する

問 学校運営協議会のメリットとデメリットは。

教育長 保護者や地域住民等の学校運営の参画により、特色ある学校づくりを進められることがメリットである。デメリットは特にない。

問 小・中学校入学生のリンドセル、制服購入補助金制度の創設の考えは。

教育長 考えていない。

問 就学補助の対象者へのランドセル等の補助金支給を新学期前に前倒しする考えは。

子ども教育課長 メリット等を検討しながら対応していきたい。

問 ヤングケアラーの実情と対応は。

教育長 本町では、ヤングケアラーとされる児童・生徒はいないと捉えている。

問 キッズゾーンの整備について、過去の質問の折、早急な対応をするとの答弁であった。その後の経緯は。

教育長 キッズゾーンの設置はしていないが、保育園からの要望を調整し、保育園児の散歩コースになっている横断歩道や区画線の整備などにより、園児の安全に努めている。

問 弓道施設の位置づけは

答 町営弓道場という位置づけではない

問 射場を床張りにする考えは。

教育長 今後、床張りをする考えはない。

問 風雨時に射場に雨が降り注ぎ、更に前面にU字溝が入っていないため射場内に雨水が侵入してしまう。改修の考えは。



棚倉弓道会が利用している射場

教育長 現時点で改修の予定はない。

問 現状の施設では、日本弓道連盟による公認弓道場として許可されない。連盟への会員登録ができず、昇段審査も受けられない。敷地内に公認弓道場を併設する考えは。

教育長 競技人口の問題、多額の建設費用、維持費が必要であり建設は難しい状況である。

問 福祉避難所の事前公表と災害時の対応は

答 チラシを作成 避難方法を全世帯周知

問 災害調査のための小型無人機（ドローン）導入の考えは。

町長 町内業者と災害時における協力活動の協定書を締結しており、協力要請をしていく。

問 現在の学校防災計画は、水準を達成しているのか。

教育長 文科省の学校危機管理マニュアルに基づいて作成している。



古市 泰久

問 せめて床張り、雨対策、照明施設の改善について町長の考えは。

町長 指摘を受けた不備な点は、調べたり、意見を聞いたりとすることが必要な部分があるように思っている。

問 福祉避難所の事前公表と災害時の対応は

答 チラシを作成 避難方法を全世帯周知

問 災害調査のための小型無人機（ドローン）導入の考えは。

町長 町内業者と災害時における協力活動の協定書を締結しており、協力要請をしていく。

問 現在の学校防災計画は、水準を達成しているのか。

教育長 文科省の学校危機管理マニュアルに基づいて作成している。

議会ってどんなところ？

◀6月7日、棚倉小学校2年生が町探検のため、施設見学に来ました。



議長席に座った2年生

◀6月21日、棚倉小学校4年生が総合学習のため、施設見学に来ました。



議会の仕事について質問する4年生

議員活動

第70回地方植樹祭

6月23日、「たなぐら 未来をつなぐ植樹祭」をテーマに第70回地方植樹祭がルネサンス棚倉東側広場で行われました。

国土緑化西白河地方推進委員会委員長 高橋廣志西郷村長をはじめ、宮川政夫県議会議員、国土緑化東白川地方推進委員会委員長 湯座一平町長、社川幼稚園園児、町議会議員や関係者、約八十名が参加し、エドヒガンやツツジを植樹しました。



福島第一原子力発電所視察研修

今とこれからを知る

7月2日、福島第一原子力発電所の原子力事故現場を「自分の目で確認し、現状と今後の復興計画について」をテーマに、湯座町長も参加し、視察研修を行いました。

福島第一原子力発電所（大熊町）に移動し、事故現場の説明を受けながら、バスで構内を視察し、事故現場を間近で確認しました。構内には、放射線量の高い場所がありました。



1号機



2号機



3号機



4号機

(間近で確認した現在の原子炉1～4号機の状況)

意見交換会では、事故の当日原子炉を運転していた方の話や、今後、廃炉に向けての作業工程、処理水について意見交換を行いました。福島第一原子力発電所の「今とこれから」を知ることができ、意義のある視察研修となりました。



議会モニター 言わせて一言

第22回

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

戸中にお住まいの
益子 清志さん



最近「SDGs」という言葉を耳にします。2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標」というとても分かりやすい言葉です。これまでの私たちは利益や利便さばかりを追求して、環境や人権を犠牲にしてきました。その結果、便利ではあるけれど、将来に不安を持つような社会となっていることは事実であります。このままの生活を続けていけば、地球温暖化や異常気象による災害が頻繁に発生していずれは人類が立ち行かなくなっていくことを多くの私たちは気付いていると思います。私たちが作ってしまったこの社会の不具合を、子や孫にまで引き継がせてはいけない、どこかで修正していかなければいけない。そのための目標が「SDGs」です。仏教の教えに「正を知る」という言葉があります。次々に起こる経済、環境、社会などの様々な試練に対処するには「節度」が必要であるという教えです。まずは一人一人の考え方を変えていかなければならない時ではないでしょうか？

中山本にお住まいの
佐藤 和弘さん



令和三年終わりが見えないコロナ禍によって、生活スタイルも大きく変化しています。私は、趣味のキャンプやカーでの旅行を楽しんでいます。各地を歩いてみると各市町村では、観光案内や〇〇工業団地などの看板が見られます。しかし、棚倉町には工業団地の看板がありません。会社や工場が無くては若い人が町に住み続けられないと思います。同時に子供は減り、町全体の人口が減っていきます。各町村の悩みは同じだと思いますが、このことを優先的に解決していただきたいと思っています。農業人口の減少により遊休農地が増えつつあります。問題解決の一つとして特産物の開発、移住者を募り、家庭菜園等で少しでも遊休農地を減らし、イノシシ等の鳥獣被害も減るのではないのでしょうか。農業に携わる人は大変だと思いますが、頑張ってください。

あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

●定例会9月会議日程のお知らせ（予定）

9月14日(火) 開会・本会議

9月15日(水) 一般質問

9月16日(木) 一般質問

9月17日(金) 決算特別委員会・閉会

正式日程は、9月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

編集後記

いよいよ、夏本番を迎え熱中症を気にしながら外での運動や作業に注意しなければいけない季節になりました。体調管理には十分注意を払い作業として、スポーツを楽しみましょう。

コロナワクチン接種が始まりました。順次接種が行われて感染症拡大防止が期待されています。早期終息を願うばかりです。皆さん、接種を受けましょう。

オリンピック・パラリンピック競技が開催され、明るく期待が持たれる大会です。各自好きな競技や選手がいると思いますが、観戦ルールを守り応援しましょう。

広報編集常任委員会

委員 割栢 義夫

広報編集常任委員会

委員長 近藤 正光
副委員長 割栢 義夫
委員 佐藤 喜一
委員 藤田 智之
委員 鈴木 政夫

発行責任者／議長 須藤 俊一 編集／棚倉町議会広報編集常任委員会
〒963-6192 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野33
☎ (0247) 33-7882 FAX (0247) 33-3715

URL: <http://www.town.tanagura.fukushima.jp/>
e-mail: gikai@town.tanagura.fukushima.jp